

男の子だけでなく女の子にも楽しんでもらえる 教室にしたい

<導入の背景とねらい>

——なぜ KOOV を導入しようと考えましたか？

1つ目に KOOV のデザイン性です。他の教材を検討していたところ、カラフルな KOOV のブロックを見て「これだ！」と感じました。女の子にも興味を持ってもらえるロボットプログラミングキットを導入したいと考えていたので KOOV はピッタリです。2つ目に KOOV アプリの中に入っている楽器や動物などのロボットレシピが男女性別を問わず楽しく制作できる教材であること、3つ目に教室で KOOV を導入する際の制約がきつくなかったことです。特にロボットキットを生徒さんにレンタルできるということが重要でした。長続きするかわからないお子さんの習い事に初期費用がかかりすぎることは、保護者に入会をためらわせる大きな理由になることを予想していました。



—— KOOV の講座開講までの流れと、保護者にどのようにお話をされたか教えてください

KOOV の講座を9月から開講する前の夏休みに3日間、親子体験会を実施しました。どれくらい集客できるのか不安はありましたが、学校からの配布物に広告を掲載したり、直接保護者の方にお知らせしたことで25名のお子様に体験会に来ていただくことができました。お子様に実際にロボットを作って動かして楽しさを体感してもらおうと「またやりたい！」と言ってくれました。ロボットを教室でレンタルしているので、気軽に始めることができること、KOOV だから男女問わず楽しんでもらえること、グループワークや自由制作もカリキュラムに盛り込んでいることを保護者の方にお話ししました。

また、体験会は保護者の方にも参加していただいたのですが、「普段学校では手を挙げて発言することの少ないお子様が体験会では積極的に発言していた」や「普段は自分のお兄さんの陰に隠れているようなタイプなのに体験会ではお兄さんよりも誰よりも一番に手を挙げて自分のロボットの発表を堂々としていたことに驚いた」などのお話を伺いました。体験会に参加した時点でお子様の変化を感じて、そのことが入会のきっかけになった方もいました。



School Data

プログラミング教室 Pocket (一般社団法人ポケット)

- 茨城県牛久市にあるプログラミング教室 (1 教場)
- 2018 年 9 月に KOOV を使用したロボットプログラミング教室を開講
- 民家を改装したとてもアットホームな雰囲気のある教室

Class Data

対象学年と人数

小学校1年生～小学校5年生、10人のクラス

使用機材

授業では KOOV を 1 人 1 台使用
タブレットを 1 人 1 台使用



インタビューにご協力いただいた大島さんご夫妻

お友達同士でフォローし合いながら学習を進めていく

<授業風景>

— KOOV でどのような授業を行っていますか？

90分の授業を月に2回行っており、授業の形式は一斉授業になります。KOOV アプリの中に入っている学習コースを中心に授業を進め、数か月に一度自由制作のヒントとしてロボットレシピを利用しています。自由制作はグループワークで取り組むことにより、コミュニケーション力や表現力、他者の考えやアイデアを取り入れ新たな発想を生み出す力の育成など、様々な効果をねらっています。プログラミングは自宅で独りでも勉強できますが、Pocket に来てお友達と共にプログラミングに取り組んでいく中で仲間意識が生まれ、みんなと一緒にだから飽きずに最後まで頑張る問題解決ができるのではないかと考えています。

— どのようにして KOOV を教えられるようになりましたか？

KOOV のアプリに入っている学習コースや、ロボットレシピを幾つか作成してみました。他に特別なことはしていません。



間違える、失敗する、考える、やり直すの経験が自然に身に付くような教室にしたい

<今後の教育方針>

— 教えるにあたり大事にしていることは何ですか？

得意不得意の個人差において、不得意な部分を本人が意識せずお友達同士でフォローし合いながら学習を進めていけるような雰囲気づくりです。間違える、失敗する、考える、やり直すの経験が自然にたくさんできるようなカリキュラムを考えています。またお子様に楽しんでプログラミングを学習してもらえるように心がけつつ、自分自身もお子様たちと一緒に楽しみながら講座にのぞむこと。短期間でお子様の変化や成長が感じられなくても、気長に大人になった頃に今しているプログラミング学習が様々な場面で効果を発揮してくれたらいいな、という気持ちで向き合っています。

— 現状の課題は何ですか？

ロボット制作、プログラミングのそれぞれに得意不得意の個人差があり、90分の授業の中でどこまでの内容を進めるか、時間配分などが上手くいかない時があります。

— 先生の今後の目標を教えてください

子供のうちからプログラミングに慣れ親しむことのメリットと必要性について Pocket の考えを保護者の方にわかりやすく具体的にお知らせしていきたいです。そして、多くのお子様プログラミング教室に通っていただけるように今後も努力していきたいと思っています。



小学校3年生のお子様の保護者の声：

同級生のお母さんから Pocket を紹介いただき、子供には最初は楽しみながらプログラミングを勉強してもらえたら、と思い通い始めました。月2回の授業ですが Pocket に来るのが楽しくて、「今日授業であんなことやった、こんなことやった」と家でも話しているくらい、本人は楽しんでいるから通って良かったな、と思います。単に言われたことをやるのではなく、なぜこうなったのか、次はどうすればいいのか、と自分で考えることを身に付けてもらいたいと思っています。

小学校1年生のお子様の保護者の声：

体験会の時に自分でアイデアを出してロボットを作り、みんなで共有するところを見て、まずは子供が興味を持ったこと、そして思ったことを順序立てて話すところも育ててもらえると感じて入会を決めました。普段失敗するとすぐ諦めそうになることが多かったのが、隣の席のお友達にフォローしてもらって自分でやり直して、最後までやり遂げようとする姿勢が見られるようになりました。